

2024年度 産業医学研修のご案内(2024年6月～2024年7月)

島根産業保健総合支援センターでは、看護職・産業保健・労働衛生業務等に携わる皆様を対象に研修会等を開催しています。

産業保健に関係するすべての方に対し専門的かつ実践的能力の向上を図ることを目的に実施するものです。

新型コロナウイルス感染状況及び申込者が少ない場合など、研修会を中止する場合がありますのでご了承願います。

研修番号	日時	テーマ	講師・研修内容	会場	定員
7	6月6日 (木) 14:00～16:00	職場における熱中症対策(2024年)	・春木 宥子 産業保健相談員(松江記念病院健康管理中心 顧問) 熱中症の予防については、第14次労働災害防止計画において、下記のとおり目標が設定されています。「アウトプット指標:熱中症災害防止のために暑さ指数を把握し活用している事業場の割合を2023年と比較して2027年までに増加させる。アウトカム指標:増加が見込まれる熱中症による死者数の増加率を第13次労働災害防止計画期間と比較して減少させる。」 4月:準備期間、5月～9月:キャンペーン期間(7月重点取組み)が設定されています。産業医は衛生管理者と協働し、職場での基本的熱中症対策を講ずることが重要です。取組みを徹底し、効果的な展開で発症を予防しましょう! 基本対策(体制、作業管理、環境整備と管理、教育研修等)及びその実際を紹介しします。	労働会館 201中会議室 【松江市】	30名
8	6月15日 (土) 14:00～16:00	ポストコロナでの業務	・中村 嗣 産業保健相談員(島根県立中央病院 感染症科 部長) COVID-19によって、業務形態が変わった点・変わらない面があります。また、罹患後症状などで配慮が必要となる方々もおられます。 それらの現状を踏まえ、今後の対策をどうするか、新たに来るであろうウイルス等に対する心構えなどを主に国内での業務に対して解説する。また、海外への旅行・赴任も活発になってくると思いますが、感染対策は国内とは事情も異なってきており、海外へ渡航する際の疾患とワクチンについても解説する。	松江テルサ 研修室1 【松江市】	30名
9	6月22日 (土) 14:00～16:00	ILO国際じん肺写真分類2022版からみた石綿関連肺疾患	・日下 幸則 産業保健相談員(JA島根厚生連 健康管理中心-診療所長) 共同著者 長尾 大志(島根大学 医学部 医学科 地域医療教育講座 教授) ILO2022年版じん肺レントゲン写真国際分類が公開されて、丸一年、経ちつつある。24枚の標準(スタンダード)画像はデジタルデータで、ILOホームページから無料でダウンロードでき、そのガイドブックも同様である。例えば石綿肺は、胸部レントゲンに線状・網状影の影として現れる。これをグローバルに、スタンダード画像にフィチャーされたタイプ、共通の物差し(密度、スケールリング)で記載される。ちなみにスケールリングは1972年からずっと不変で、五十周年と言っても良い。と同時に臨床では、鑑別すべき瀰漫性肺疾患も多い。ILOスキームを入門的に実習すると共に、間質性肺疾患も高精細3Dモニター上で、スキームに則した鑑別をトライする。	労働会館 202中会議室 【松江市】	20名
10	6月29日 (土) 14:00～16:00	How to ストレスチェック "業者任せにしないストレスチェックのすすめ方"	・吉積 宏治 産業保健相談員(吉積労働衛生コンサルタント事務所 代表) 50人以上の法令で実施が定められている事業場はもちろん、小規模事業場でストレスチェックをやりたいと検討している職場向けに、産業医や保健師が自ら実施主体となってストレスチェックを進めるプロセスを説明します。紙媒体での実施はもちろん、とくに手持ちの機材だけでウェブで回答するストレスチェックの方法を紹介しします。実施中の職場にとってはストレスチェックの費用軽減や、費用を心配して躊躇していた小規模事業場には、メンタルヘルス対策の取っ掛かり、促進になります。また、実施した内容から、集団分析を行い、対策に結びつけるところまでを解説します。これからストレスチェックを始める職場、すでに実施しているがマンネリ化している職場の産業医・保健師向けの研修です。	いわみ一 402研修室 【浜田市】	30名
11	7月6日 (土) 14:00～16:00	職場における熱中症対策(2024年)	・春木 宥子 産業保健相談員(松江記念病院健康管理中心 顧問) 熱中症の予防については、第14次労働災害防止計画において、下記のとおり目標が設定されています。「アウトプット指標:熱中症災害防止のために暑さ指数を把握し活用している事業場の割合を2023年と比較して2027年までに増加させる。アウトカム指標:増加が見込まれる熱中症による死者数の増加率を第13次労働災害防止計画期間と比較して減少させる。」 4月:準備期間、5月～9月:キャンペーン期間(7月重点取組み)が設定されています。産業医は衛生管理者と協働し、職場での基本的熱中症対策を講ずることが重要です。取組みを徹底し、効果的な展開で発症を予防しましょう! 基本対策(体制、作業管理、環境整備と管理、教育研修等)及びその実際を紹介しします。	出雲商工会議所 1階ホール 【出雲市】	30名
12	7月13日 (土) 14:00～16:00	ILO国際じん肺写真分類2022版からみた石綿関連肺疾患	・日下 幸則 産業保健相談員(JA島根厚生連 健康管理中心-診療所長) ・長尾 大志(島根大学 医学部 医学科 地域医療教育講座 教授) ILO2022年版じん肺レントゲン写真国際分類が公開されて、丸一年、経ちつつある。24枚の標準(スタンダード)画像はデジタルデータで、ILOホームページから無料でダウンロードでき、そのガイドブックも同様である。例えば石綿肺は、胸部レントゲンに線状・網状影の影として現れる。これをグローバルに、スタンダード画像にフィチャーされたタイプ、共通の物差し(密度、スケールリング)で記載される。ちなみにスケールリングは1972年からずっと不変で、五十周年と言っても良い。と同時に臨床では、鑑別すべき瀰漫性肺疾患も多い。ILOスキームを入門的に実習すると共に、間質性肺疾患も高精細3Dモニター上で、スキームに則した鑑別をトライする。	いわみ一 101研修室 【浜田市】	20名
13	7月20日 (土) 14:00～16:00	自律的な化学物質管理における産業医等の役割	・田中 誠 産業保健相談員(田中安全衛生コンサルタント事務所 代表) 厚生労働省では化学物質管理について、政省令などを改正し昨年4月より新たな内容が導入され2年目を迎えました。主な内容は、自律的管理に向けての実施体制を確立し、順次拡大されるリスクアセスメント対象物のリスクアセスメントを行い、労働災害防止及び快適な職場環境形成にあります。その中で、産業医等の専門家の役割は益々重要となってきます。本研修では、自律的管理の法的な概要と産業医等の役割について解説します。	労働会館 202中会議室 【松江市】	30名
14	7月27日 (土) 14:00～16:00	How to ストレスチェック "業者任せにしないストレスチェックのすすめ方"	・吉積 宏治 産業保健相談員(吉積労働衛生コンサルタント事務所 代表) 50人以上の法令で実施が定められている事業場はもちろん、小規模事業場でストレスチェックをやりたいと検討している職場向けに、産業医や保健師が自ら実施主体となってストレスチェックを進めるプロセスを説明します。紙媒体での実施はもちろん、とくに手持ちの機材だけでウェブで回答するストレスチェックの方法を紹介しします。実施中の職場にとってはストレスチェックの費用軽減や、費用を心配して躊躇していた小規模事業場には、メンタルヘルス対策の取っ掛かり、促進になります。また、実施した内容から、集団分析を行い、対策に結びつけるところまでを解説します。これからストレスチェックを始める職場、すでに実施しているがマンネリ化している職場の産業医・保健師向けの研修です。	出雲市民会館 302研修室 【出雲市】	30名

※ 研修会場では他のイベントと重なり駐車場が利用できないことがありますので、ご了承下さい。

島根産保 検索



研修会申込書

FAXでお申し込みの場合は、下欄にご記入のうえ当センターまで送付願います。(ウェブサイトや右のQRコードからもお申し込みいただけます。)
お申込み後にキャンセルされる場合には、早めにご連絡を頂きますようお願いいたします。(研修会当日の急なキャンセルについては除きます。)
お申込みの時にご記入いただいたメールアドレスへ受講票を送付いたします。

希望研修番号	メールアドレス	@
氏名	職種 (○で選択)	1.医療職 2.産業看護職 3.衛生管理者 4.人事労務担当者 5.事業主 6.労働者 7.その他()
勤務先 (名称・所在地)	TEL	() - () (自宅・勤務先)
	FAX	() - () (自宅・勤務先)

※ 島根産業保健総合支援センターの電話番号及びFAX番号 TEL:0852-59-5801 FAX:0852-59-5881

※ 最新の研修案内をメールマガジンで配信しています。メールマガジンの登録は、当センターのウェブサイトからお申し込みください。

※ 本用紙に記載された個人情報は、産業保健活動総合支援事業の目的以外には使用いたしません。